



開館10周年・合併5周年記念 夏期特別展
 葛飾北斎生誕250年記念
 ー 富嶽三十六景と風景画展 ー



「富嶽三十六景 諸人登山」
 葛飾北斎 和泉市久保惣記念美術館蔵

日本一の高さを誇る富士山の優美な風貌は、古来靈山として崇められ、様々な伝説や信仰を生み出しました。

江戸時代には、はせがわかくぎょう 長谷川角行やじきぎょうみろく 食行身録など、富士山で苦難の修行を遂げた修験者が登場し、富士信仰は庶民の間で大人気となります。富士山に登ることによって、健康や幸せ、一家繁栄など現世利益を得ることができるとされたので、人々は「講」というグループを作って資金を集め、持ち回りで富士山登拝を行いました。この「富士講」は江戸を中心に隆盛を極め、全盛期には「江戸八百八講」と称されるほどたくさんの講ができました。その勢いがあまりにすごかったので幕府が禁令を出したほどです。

葛飾北斎が作成した『富嶽三十六景』にも富士講の登山の様子が描かれています。画面左手には白木綿の行衣を着て杖をつき、力を振り絞りながら険しい山道を黙々と歩く人々。その先には疲れ切って座り込んだり、岩室で声も立てずに肩を寄せ合う人々がいます。長い登山の末、ようやく山頂にたどり着いたところなのでしょう。北斎は富士登拝の過酷さを知っていたかのようにその様子を描き表わしています。

富士登拝が出来ない人たちでもお参りできるよう、富士山を模した人口の塚「富士塚」が江戸を中心に関東一円に築られました。富士山の溶岩を

積み上げたり、既存の丘や古墳を利用したりして作った塚の上にはせんげん 浅間神社が建てられています。

今日でも東京23区内に60基あまり残っていることが報告されていますが、那珂川町でも小川と馬頭に浅間神社があり、富士信仰の名残をとどめています。

馬頭広重美術館 主任学芸員 長井裕子

【会 期】 7月30日(金)～8月29日(日)

【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで
 (但し入館は午後4時30分まで)

【休 館 日】 月曜日、祝日の翌日

【入 館 料】 大人 700円 (630円)
 高・大学生 400円 (360円)

※ () は20名以上の団体料金。

※70歳以上の方、中学生以下は無料。

※障害者手帳をお持ちの方・付き添い1名は半額。

【お盆の無料開放】

8月15日(日)は、お盆の帰省者のため、美術館を終日無料開放します。また、当日は午後7時30分まで開館しています。

ミニギャラリー
 作品募集!

あなたの作品をここに出品してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの作品をお待ちしております。

問い合わせ:企画財政課

☎0287-92-1114



入選「落陽に輝くカニ竹笠」
 矢野健一郎さん(日光市)

ミニ
 ギャラリー

観光協会
 写真コンテスト
 受賞作品



入選「山車が行く」
 江川 多嘉さん(宇都宮市)